「神の愛が全うされる」　　2025 年 12 月 17 日

愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれた者であり、神を知っているからです。愛さない者は神を知りません。神は愛だからです。神は独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、私たちが生きるようになるためです。ここに、神の愛が私たちの内に現されました。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めの献げ物として御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する人たち、神がこのように私たちを愛されたのですから、私たちも互いに愛し合うべきです。いまだかつて神を見た者はいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちの内にとどまり、神の愛が私たちの内に全うされているのです。神は私たちにご自分の霊を分け与えてくださいました。これによって、私たちが神の内にとどまり、神が私たちの内にとどまってくださることが分かります。私たちはまた、御父が御子を世の救い主として遣わされたことを見、またそのことを証ししています。誰でも、イエスを神の子と告白すれば、その人の内に神はとどまってくださり、その人も神の内にとどまります。私たちは、神が私たちに抱いておられる愛を知り、信じています。　（Ｉヨハネ 4：7～16a）

上記の御言葉は、Ｉヨハネの核心で読む者に深い感動を与える、キリスト教信仰のエッセンスである。著者は、「愛する人たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれた者であり、神を知っているからです」と語りかける。神は独り子イエスを世に遣わし、主イエスによって、私たちが生きるようにしてくださった。人は愛がないところでは生きられない。愛があって、人は顔を上げ、生きるようになるのである。その愛は神から始まる。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、罪を贖う宥めの献げ物として、御子イエスを遣わしてくださった。主イエスの十字架により罪が赦され、主イエスの復活により、神の永遠の命に与る救いを与えてくださった。ここに、人間を愛してくださった神の愛が啓示されている。愛は神から発し、主イエスに神の愛が現わされている。このことを、「神は愛だからです」と一言で言い切っている。

著者は、主イエスに啓示された愛を踏まえ、「愛する人たち、神がこのように私たちを愛されたのですから、私たちも互いに愛し合うべきです」と呼びかける。そして、「いまだかつて神を見た者はいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちの内にとどまり、神の愛が私たちの内に全うされているのです」と説く。誰も神を見ていない、見ることはできない。しかし、主イエスが命じられたように、互いに愛し合うなら、神が私たちの内におられ、神の愛が全うされる。神が私たちに分け与えてくださった霊によって、私たちが神の愛の内にとどまり、神も私たちの内にとどまり、「神の愛」の中に共にいるのが確証される。Ｉヨハネの「愛の賛歌」である。私たちは、父なる神が御子イエスを世の救い主として遣わされたことを見、信じ、そのことを証しした。誰でも、主イエスが神の子であることを信じ、告白する者は、神と主イエスと共にある。それは、私たちへの神の愛を知ったことであり、私たちがその愛に倣って生きようと願う者となることである。主イエスは見えない神の愛を現わされた。主イエスの言葉に従い、互いに愛し合うことによって、神が共におられ、神の愛が周りを充満していく。それが、インマヌエル（神は我々と共におられる）の教会であると、著者は語っている。